

2023 年 10 月 11 日

2023 年度 第 2 回石狩市社会教育委員の会議への提案

石狩市社会教育委員の会議委員長 木村 純

1. 前回第 1 回 社会教育委員会会議では、私の方から、次のような提案をしました。

社会教育委員の会議で今までよりも積極的に子どもたちの問題を取り上げよう

- ① 学校教育や保育・幼児教育に関わる人が多い、またコミュニティ・スクールに造詣の深い出口委員もいらっしゃるの、その方たちの経験や見識を活かすために子どもをめぐる問題を積極的に話題にしましょう（せっかく社会教育委員のなかに幼児教育や学校教育、PTA 関係者や子育てを支援する市民活動関係者がおられるのに、子どもや子どもの教育について関心や課題を明らかにし、十分な対話をする場に社会教育委員の会議になっていないのではないかと）。
- ② ちょうど、社会教育行政にとっても、コミュニティ・スクールや地域学校協働が重視されるなかで、これらの取り組みのなかで、社会教育活動あるいは地域住民の役割がどのように期待されているか（現にどんな取り組みをしているか）について、認識を共有することが大事です（社会教育課が所管する事業だけでなく、地域の社会教育全体を視野に入れて対話をしたい。また、それが社会教育委員の役割である）。
ー第 1 回社会教育委員の会議でも、皆さんから積極的かつ有意義な意見をたくさんいただきました。社会教育委員の会議で、子どもに関わる問題について取り上げることやコミュニティスクールや地域学校協働の取組について調べたり、議論したりする方向はおおむね同意を得られたと思います。
- ③ 学校の夏休み中にそれらに関わる行政資料を収集し、関係者に聴き取りをしようと考えていましたが（それを順調に進めて、今年度中にそうしたヒアリングのとりまとめをして、なんらかの報告と学習の場をもちたいと考えていました）、それが木村の事情で十分に進められませんでした。

2. そのことも踏まえ、第 2 回社会教育委員会会議以降は、このように進めたいと思います。

- ① 社会教育委員の皆さん（とくに教育関係者）にヒアリングをします。地域や子どもや教育の問題について関心をもっていること、話し合ってみたいこと、コミュニティスクールや地域学校協働について知っていること、関わっていること、についてご意見をお聴きする機会をもちます。
- ② 行政や学校関係者にヒアリングをします。とくに、コミュニティスクールや地域学校協働では地域住民にどのような役割を期待しているか。また、社会教育では地域の人にどんなことを学んでほしいか。
以上のヒアリングの日程については、社会教育委員に公開し、希望する委員は参加できるようにする。
- ③ 次の社会教育委員会会議では、それについての中間報告をします。
- ④ これをすすめるにあたって、出口委員と大橋副委員長、私が事務局と中心を務めたいと思います。

資料 コミュニティスクール活動一覧にみる地域学校協働活動における「対話」のテーマ

事務局から、「コミュニティスクール活動一覧」をいただき、読んでみました。殆どの学校では、会議の議題がおおまかに書かれているだけなので、そこで、どのような話し合いが行われているか、十分な可

視化が行われていないこと（詳しい記録を残すことはかえって負担を増やすことになる）。学校が地域住民に協力していただけることをお願いする場にとどまっているのではないかという不安はぬぐえません。

対話のテーマがうかがわれるものとして、双葉小学校では、学校区の安全について（1）子ども達・住民の安全を脅かしているものは？（2）改善に向けての方策は？という記録があります。また、この資料から知ることができたのは、石狩八幡小学校・石狩中学校では、CS 各部会からの報告として、①合同防災教室 ②図書ボランティア ③学習サポート ④雪山整備 ⑤スキー講師が上げられ、また厚田学園のように部会では、次のように協議が行われている事例がありました。①運動会取組支援 ②職業体験企業の仲介 ③文化祭の取組支援 ④ソクラテスミーティング ⑤スキー練習場整備 ⑥挨拶運動 ⑦防災訓練 ⑧厚田でしかできない活動。